

## 作品目録

※奨励賞・入選作品は作品受付順に並べています。

### 絵画 56点

審査員 小田野 尚之・竹永 克彦・友安 一成・堀 研・古谷 可由

審査評 古谷 可由

絵画部門の出品数は、昨年より11点少ない75点であった。内容的には、例年通り、今後に期待できる若々しく力強い作品から、技術にこだわることなく自由に表現したものまで様々であった。とくに入選当落上の作品には大きなレベル的な差はなく選定に苦労した。一方で、入賞作はいずれも力作ぞろいで、なかでも優秀賞はそのテーマ選定も含めて独創的で技術的にも高レベルにあり、異論なく決定となった。また、審査員のなかから、レベルのばらつきについて、市美展のあり方を含め、再考の時期ではないかとの意見もあった。今後に期待する。

優秀賞	今井省吾	終りの始まり(3.11)	八本松
奨励賞	山野内美佐子	薄氷	黒瀬
奨励賞	高橋菜津美	落ちる日	広島市
奨励賞	本田豊子	一日の始まり	高屋
奨励賞	弘津房枝	夕影	高屋
奨励賞	坪島輝明	牡丹	西条
奨励賞	田島啓子	酒のまち	西条
	栗田守	門(閑谷学校)	西条
	丸本富美子	実りに感謝	西条
	佐々木佳子	想	吳市
	川元忠信	爛漫	八本松
	助元絹枝	おじさんのアート	黒瀬
	圓奈幸子	ワルシャワの街角	西条
	上敷領美津枝	遠くに	黒瀬
	田村カツエ	木の神(2.600年)	西条
	中谷禎子	冬陽	高屋
	西田真弓	瓶たち	西条
	森下景子	バイク・ショップ	竹原市
	谷原宏治	桜橋(帝釈峠)	西条
	越川道江	シキソクゼクウ	豊栄
	葛城悦子	沈黙	八本松
	飛子秀美	秘境	志和
	福場一志	ヒーロー	志和
	渡辺茂生		志和
	松本全布	春の「ほほえみ」	高屋
	阪本トモ子	想う	黒瀬
	前川淳子	風あざみ	黒瀬
	松岡緑	再	黒瀬
	西尾紀美子	錦秋	西条
	藤原久美子	白い花	高屋
	片山潔子	赤い缶	高屋
	岡暁子	夏の思い出	吳市
	中上則子	ドブロヴニク印象	西条

西村昭次	モスクのある街	竹原市
鍵山昌子	薔薇乱	高屋
高原恵子	初夏の水辺	八本松
南部招子	花野	西条
松浦千鶴子	石蕗	高屋
安藤涼子	午睡	黒瀬
保立陽子	空と大地	高屋
津村豊彦	さくら	高屋
原見捷子	夏の想い出	高屋
日信久美子	銀杏物語	八本松
宗岡節子	寂秋	志和
山崎菜結	水辺	八本松
岩城由加子	午後の森	西条
花上豊子	梅雨の頃	志和
井林積	でっかいシャボン玉	西条
栗栖富恵	想い出の太田川	西条
吉田久美子	ブラックベリー畑にて	西条
石田雅子	想い出(河口にて)	志和
岡藤枝	生きる	高屋
三澤尚子	雨にぬれても	西条
奥村慶三	雲陰	高屋
功野智恵子	四月	福富
尾張博子	花車~天国のあなたへ贈ります~	西条

### 彫刻 7点

審査員 正司強・一鍬田徹・今田拓志・藤川素子・山田博規  
審査評 一鍬田徹

制作環境を整えるのが難しい彫刻分野で、それでも一生懸命に取り組んでおられる方々に敬意を払いつつ、厳正に審査にあたった。中には立体としての「塊の強さ」や「奥行き」の面で、今一步及ばなかった作品もあったが、基礎的な技術はお持ちのようなので次回に期待したい。優秀賞「蘇」は粗い土付けで勢いが感じられたが、見せ方に工夫があるともっと良かった。奨励賞「釣人」は木彫の小作品ではあるが、独特の味わいがあった。「新世紀 ウェヌス」は、金属による意欲的な作品であったが、椅子の使い方に再考が必要との評価で、惜しくも次点。

優秀賞	丸井愛実	蘇	安芸津
奨励賞	坂井貞義	釣人	西条
	坂井徳成	新世紀 ウェヌス	西条
	久保田芳照	かえる	八本松
	奥田浩司	大菩薩像	黒瀬
	小谷千晶	あーちゃん	西条
	上床恵	友人Y	西条

### デザイン 3点

審査員 井深壽一・野木原和子・桜田知文・原仲裕三

森川紘一郎

審査評 桜田知文

本美術展においてデザインは、ポスターだけでなく、イラスト、環境・建築デザイン、CG、映像などを応募することができる。

いろんなジャンルがあるので、もっと多く出品が可能なはずであるのに、ポスター3点の応募は寂しいものがある。

今年度は残念ながら優秀賞はなかったが、奨励賞の英字新聞を下地にした平和ポスターは、安定した力を感じる。もう1点の奨励賞の、放射能汚染をイメージした作品は、アイデア・テクニックはとても良いのだけれど、画面のまとまり、バランスがもっと取れていればさらに良くなつたであろう。

奨励賞	西梅文子	明日の在りか	八本松
奨励賞	日信久美子	汚染	八本松
	梶原彩希	PEACE	西条

## 書 33点

審査員 杉岡 陽水・林 桂翠・吉田 道子・重本 天空・三好 美江

審査評 杉岡 陽水

漢字作品は3分野の中で最も出品数が多かったものの、行草体がほとんどで作品の多様性に欠けた。篆・隸等の書体にもチャレンジされたい。仮名作品は大字・細字作品が偏りなく出品されており好みしかったが、大字作品の線質鍊度は課題。前衛などの作品はバラエティに富み楽しめる作品と共に、独創性の覗えるものがあり今後の可能性に期待。

全体を通して、更なる線の鍊度と作品としての表現力の向上を重ね、墨気と存在感のある作品を目指されたい。また、誤字のないよう検字にも意を配われたい。

### 漢字14点

優秀賞	高下鈴蘭	琉璃の匣	八本松
奨励賞	水戸花邨	十七條憲法	豊栄
	李木昌子	總持閣に登る	西条
	山下春扇	杜甫詩	高屋
	圓尾幽城	吳嘉紀詩	西条
	徳井真奈美	吳與弼詩	高屋
	彦坂玄光	悲嘆詩	高屋
	酒井暁洲	早起	西条
	末国志翠	題李凝幽居	志和
	重竹桂鳳	登樓	黒瀬
	田辺光鳳	秋闌思	黒瀬
	上野玲鳳	郡中卽事	西条
	金田芳園	七里灘	黒瀬
	白銀珠光	哥舒歌	西条

### 仮名11点

優秀賞	的場栄仙	霜がれの	西条
奨励賞	中曾千尋	ひぐらしの	八本松
	前田邦子	天の原	西条
	杉本香仙	三十六歌仙	高屋
	木林薰仙	百人一首	西条
	夜船幽舟	古の	西条

坂川佳子	雨そぞぐ	高屋
田島幸恵	春は花	高屋
松原多美子	よのなかに	高屋
新林達人	つ具者や万	西条
谷口恵里子	銀も	西条

## 前衛など8点

優秀賞	福本麗水	情熱	広島市
	濱田卿石	送梁六	西条
	六浦英則	偶成	西条
	雲田圭子	晶子のうた	西条
	林渢碩	撥草瞻風	西条
	美乃桃水	祈り	八本松
	漆田利江	花は咲く	西条
	小野和菓	風をおこして	八本松

## 工芸 10点

審査員 正司強・一鍬田徹・今田拓志・藤川素子・山田博規  
審査評 山田博規

毎年応募数が減少しており、昨年までは出品されていた染色作品も今年は見られず、非常に残念である。

そんな中、「走想」は陶磁作品で、「用」から離れた奇抜な形状でありながら破綻のない造形は、確かな技術が成せる技によるものと評価された。審査終了後に知らされた制作者の年齢から、創作に年齢は関係ないということを改めて感じさせられた。

搔落大壺「花の環」は黒土の器胎に白化粧をかけ、「花の環」の精巧な連続文様を搔き落とした、その努力が認められる作品であるが、ありがちな形状の造形が残念であった。

優秀賞	広光礼壯	走想	西条
奨励賞	奥井涼	白化粧搔落大壺「花の環」	西条
	益村勝紀	焼締窯変壺「夜明け」	八本松
	光保智恵子	花籠	安芸津
	水野哲朗	縄六つ目竹花籃「涼華」	安芸津
	宮本和子	象嵌扁壺	八本松
	田中清香	紺だすき壺	西条
	重松邦子	風語り	竹原市
	小林秀子	備前大徳利	安芸津
	竹下博文	灯	八本松

## 写真 23点

審査員 井深壽一・野木原和子・桜田知文・原仲裕三  
森川紘一郎

審査評 井深壽一

第26回を迎えた今年は30点の応募があり、その中から23点の入賞・入選作品が決まった。全体としては、レベルの高い作品が数多く見受けられた。

特に、優秀賞・奨励賞となった作品は高レベルで、他にも数点賞候補に挙がったが、最終的には審査員の意見が一致した4作品に決

まったく。

一方、選外となった作品の中には写真の内容はよいものの、ピントの甘さや仕上げ（プリントの調子）に若干の問題があったものもあり惜しまれた。写真は、撮影から各プロセスを経て完成作品となるが、最後の仕上げを大切にしたい、そう感じた。

優秀賞	田 部 昌 子	ファンタジー	西条
奨励賞	丸 谷 邦 子	子どもの世界	高屋
奨励賞	新 林 達 人	嫗	西条
奨励賞	湯 川 宏 之	明日へ	豊栄
	泉 谷 文 夫	慈愛	八本松
	小早川 玉 喜	雪花	黒瀬
	岡 田 耕 造	春の日	西条
	佐 藤 武 文	夕映え	高屋
	西 尾 紀美子	護摩法要	西条

澤 田 敏 郎	氷紋	三原市
岩 下 等	フェイス	広島市
山 野 香	巨樹	西条
山 田 修 三	収穫	西条
廣 兼 惟 央	水辺に在りて	西条
窪 野 美奈枝	夕靄	西条
為 重 修 次	犒犧（ネギライ）	西条
迫 本 伸 子	水中からメリークリスマス	八本松
今 井 省 吾	ショータイム	八本松
新 原 勝 彦	艶舞	三原市
奥 本 泰 久	ルアンババーンの僧列	高屋
原 本 康 則	秋雲	高屋
鍵 本 裕 次	組曲「西条」	広島市
河 上 雅 之	光芒	八本松

## 第26回東広島市美術展について

東広島市美術展は、「市民に親しまれる芸術祭的な展覧会」という側面と「作品レベルを追求する公募展」という、相対する二つの要素を内包する展覧会として位置づけています。

作品の審査にあたっては、公平性を期するため、得点制を導入しています。1つの作品に対し5人の審査員がそれぞれ点数をつけ、その合計をその作品の得点としています。この得点を、入落選・入賞の目安とし、そのボーダーライン上の作品群については、審査員全員の協議の上決定しています。

また、第12回市美展から、3年に一度、市美展の開催に先だって審査員並びに市美展無鑑査作家による「トリエンナーレ東広島－郷土・招待作家展－」を開催しています。これは、「審査員・無鑑査作家の作品展」という質の高い展覧会を別個に開催することにより、無鑑査作家を目指すことについて一層の励みとともに、「市民に親しまれる芸術祭的な展覧会」という側面をもつて市美展の展示スペースをできるだけ多くの入選作品にあてるためです。

これまででも、作品の規定など、少しづつ市美展は変化してきています。今後、より市民に親しまれ、市民のニーズに応えられる公募展、作品レベルの向上に資することのできる公募展となるよう努力していきたいと思います。

東広島市教育委員会

### 第26回東広島市美術展応募状況

部 門	応募数	入選数	奨励賞	優秀賞	部 門	応募数	入選数	奨励賞	優秀賞
絵 画	75	56	6	1					
彫 刻	9	7	1	1					
デザイン	3	3	2	0					
工 芸	13	10	1	1					
写 真	30	23	3	1	合 計	174	132	15	7
書									
		漢 字	20	14	1	1			
		仮 名	14	11	1	1			
		前衛など	10	8	0	1			
		計	44	33	2	3			

※入選数には大賞・優秀賞・奨励賞も含みます。